

登録コード	E2574900	開講年度	2026				
授業科目	美術史・美術理論研究					担当教員	小野 文子
英文授業名	Theory of Art					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・5時限	対象学生	
講義室	教育N 2 0 3 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				日本の文化、芸術について学び、海外の人々に英語で説明することができるようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				日本の文化、芸術について学び、海外の人々に英語で説明することができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	グラスゴー大学のSchool of EducationとのCOIL。 日本の文化、芸術について、英語を用いて説明する、演習方式の授業。						
(5)授業計画	ガイダンス グラスゴー大学School of Educationとのオンラインによる授業 グループ活動 成果報告 * オンラインによる授業。 * 火曜日 5 限となっていますが、授業日は9月末を目処に周知します。英国との時差がありますので、水曜日の17時からの授業となることが多いかと思います。						
(6)成績評価の方法	グループワークで作成した教材 ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀 , 89-80% 優 , 79-70% 良 , 69-60% 可 , 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	グループ・ワークやディスカッションに積極的に参加し、日本の文化や芸術をベースとして、イギリスの学校教育で用いることができる教材を、グラスゴー大学の学生と共同で作成できていること。						
(8)事前事後学習の内容	日本の文化や芸術に関心を持ち、英語で説明することができるように心がける。						
(9)履修上の注意	英語でのレクチャー、コミュニケーションですので、IELTS5.0,TOEIC550点程度の英語力が必要です（スコアの証明は必要ありません）。 ・ 単位習得が必要ない学部生、大学院生の参加も可能です（担当教員に連絡して下さい）。 ・ オンラインでの授業ですので、留学中の学生も参加可能です。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	oayako@shinshu-u.ac.jpに連絡のこと。						
【教科書】	使用しない。						
【参考文献】	授業中に紹介する。						